

山口典久議員の11月県議会での質問と答弁の要旨を紹介します。一般質問、答弁の全文はホームページの「議会の様子」から、質問の動画は右のQRコードよりご覧いただけます。



＊ ＊経済対策について＊ ＊

山口 30年に及ぶ経済停滞を打開するためには、政治の責任による賃上げが必要である。県の非正規職員（会計年度任用職員）の賃金の抜本的な引き上げ、時給1,500円以上を求める。

総務部長 今議会の補正予算で、一番低い区分が1,035円、一番上が1,298円になり、期末手当に加え勤勉手当も支給する。今後も処遇改善に向け、適切に対応する。

山口 県の公共事業や業務委託の従事者に適正な賃金が支払われる取り組みが必要だ。

建設部長 国も、契約の際に標準労務費の設定と契約当事者への勧告など検討している。引き続き、適性な賃金のために取り組む。

山口 建設業以外でも、採用された見積もりが低すぎるとの指摘もある。改善が必要だ。

＊ ＊特別支援学級について＊ ＊

山口 特別支援学級の1クラスの基準を8名から6名に改善する要望が強い。また、通常学級の児童生徒が特別支援学級に移り30人規模の基準を割っても、普通学級数を減らさず維持する要望がある。県として対応を。

教育長 教員配置のための財源、専門的な教員の配置等の問題がある。

山口 長野県は全国に先駆けて30人規模学級等実現してきた。長野県の先駆性を発揮して、特別支援教育の充実・発展を望む。

＊ ＊水道広域化について＊ ＊

山口 長野県は水源が多様で、施設や設備の数が多数点在している。住民と自治体が、地形や気候などの条件を生かして身近な水道を作ってきた。国は広域化ありきで上から押し付ける姿勢だが、長野県の特性をしっかり踏まえるべき。

知事 県は国の下請け機関ではないので、県としての考えは持って取り組んでいく。市町村と水道事業者の意向も踏まえ地域の実情や課題に応じた検討を進めてきている。地域における丁寧な合意形成が図れるよう支援していきたい。

＊質問を終えて＊

非正規雇用の職員の待遇改善は、共産党県議団でも重ねて求めてきました。県の経済の再生へ引き続き頑張ります。

